

今週の言葉



「公務員」になりたい人たちへ

不況であればあるほど、全国的に「公務員」志望者は増加傾向を示します。この10数年、「公務員」採用試験とくに市町村の職員採用試験は激烈です。学生が殺到してしまう理由は、安定的な職業の典型であり、親からの強い勧めもあってのことなのでしょう。

そこそこの学力があり、しっかりと対策（受験勉強）すれば、どんなに競争倍率が高かろうが合格は夢ではありません。試験内容については、そんなに難しいものではないからです。

しかし私が見る限り、大学レベルを問わず、多くの学生が受験勉強の途中で挫折し「公務員」になることを諦めてしまっています。勉強は勉強なので楽しいはずもなく、将来の安泰や世間体・待遇の良さといった「世間のものさし」だけでは、気持ちを持続させることができないのだと思います。

村井淳志氏（金沢大学教授・教育学）は、職種を選ぶうえで重要なことは、「自分で自分がどういう人間かがわかっていて、そういう内なるものさしで進路を選ぶことが、いかに大切か」と述べています。「内側にものさしをもっている人の強みは、たとえ第一志望がダメだったとしても、すぐに第二・第三志望を発見できる点だ。そして第二・第三志望のどこが第一志望とは違っているか、よくわかっているので、それを補強しながら進むことができる。やっぱり劣等感とは無縁だ。ところが世間体や待遇で第一志望を選んだ人は、第二・第三志望になるに従ってますます世間体や待遇が悪くなっていくから、準備にやる気が起きず、予想に反して第二・第三志望の試験にも失敗したりすることがある。たとえ試験に合格してもその後の生活が不満たらたら、とても居心地がよいとは言えない。」（村井淳志「個性的に生きる」細見博志編『死から生を考える』

第3章 第5節、北國新聞社、2013年）

「公務員」採用試験へのチャレンジは、説得力のあるエネルギーに満ち溢れた志望理由書と自己PR書の作成に加え、受験に備えて特殊な試験勉強までしなければならない分、結構大変だと思います。面接等で他人から厳しいことを言われて心が折れる経験は少ないかもしれませんが、試験勉強を持続させるという自分との戦いに打ち勝つ必要があります。

安直な考えからの志望にて途中挫折するのではなく、「内なるものさし」に基づいたチャレンジであってほしいと思います。

キャリア設計ゼミ担当 三好ゆう

日経就活ニュース【就活のヒント】より

就活スケジュール 2年続けて変更！

注目！

選考解禁2カ月前倒し 早めの準備を

2017年春卒業予定の皆さんの就活スケジュールが変更になりました。

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2015年卒	企業説明会				面接解禁						内定式
2016年卒				企業説明会					面接解禁		内定式
2017年卒				企業説明会					面接解禁		内定式

企業説明会の解禁から面接解禁までが2カ月短縮になります。企業説明会が始まってからゆっくり考えているのは、時間が足らなくなるかもしれません。

就活の準備でまず始めることは、自分自身が就職したい企業を探すこと。そのためには企業やその業界の研究が必要です。どういう仕事をしたのか、なぜ、その会社に入社したいのか。エントリーシートの提出や面接の際には、志望動機を固めて、どういう仕事をしたのか整理しておく必要があります。そのためにも、その企業の業務内容や業績、事業戦略、そして、その企業やその企業が属する業界の課題や将来性を知っておく必要があります。

日本経済新聞には、日本や世界の経済動向はもちろん、様々な企業や業界のニュースが満載です。そのなかから、あなたに必要な情報を見つけてください。きっとあなたの就職活動のお役に立つはずです。

日本経済新聞社大阪本社販売局

日経就職サクセスキャンペーン で検索！

